

災害時に医療連携

川崎学園とAMDA協定

南海トラフ巨大地震 大規模災害に備え、川崎医科大(倉敷市松島)をはじめとする国内の

AMDA と学校法人川崎学園との連携協力に関する協定調印式



協定書に調印し握手する川崎理事長(右)と菅波代表

などを運営する川崎学園(同)と、国際医療ポランティアAMDA(本部・岡山市北区伊福町)は6日、被災者支援の医療連携協定を結んだ。

協定は、川崎学園が

想定している。

川崎学園で調印式があり、川崎学園の川崎誠治理事長と、AMDAグループの菅波茂代表が協定書に署名した。川崎理事長、菅波代表は「被災者支援に貢献したい」と話した。

災害発生時にAMDAからの要請で、医師や看護師らで構成する緊急医療チームを被災地に派遣する。この内容。AMDAが災害時協定を結んでいる徳島、高知県での活動を

AMDAが、県内の大学・学校法人と災害時の連携協定を結ぶのは、県立大(総社市)、就実学園(岡山市)に続き3例目。(石井聡)